

2018年1月25日(訂正版)

一般財団法人日本自動車研究所

## 自動運転車の公道実証実験に向けた「事前テストサービス」 説明会開催のお知らせ

一般財団法人日本自動車研究所（以下、JARI）は、2月から開始予定の「公道実証実験に向けた自動運転車の事前テストサービス」についての説明会を、来る1月25日（木）に開催いたします。

自動運転の実現に向けては、各方面にて様々な技術開発や実証実験が進められています。公道での実証実験の実施にあたって、2016年5月に警察庁から「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」\*が示されました。

このガイドラインでは、実用化に至っていない自動走行システムを用いた自動車を走行させた際に、交通の安全と円滑の確保に支障を及ぼす場合があり得ることを想定して、実施主体に対して**事前に十分な安全確保措置**を講ずることが推奨されています。具体的には、公道を走行する前に、テストコース等において、公道で起こり得る事態を想定した走行を十分に行って、実験車両が安全に走行できることを確認することが推奨されており、JARIはそのテストコース候補の一つとして挙げられています。

そこでJARIでは、2017年3月に整備した自動運転評価拠点「Jtown」を活用した以下の**事前テストサービス**を開始することといたしました。

- ・ 実験車両に搭載された自動走行システムの性能試験
- ・ 緊急時に必要な操作を行うために運転者席へ乗車する者（テストドライバ）の対応力の試験・訓練

メディアの皆様には、上記の事前テストサービスの内容をご説明するとともに、「自動運転車」による事前テストのデモ（一部）をご見学・ご体験いただきたく、ご案内申し上げます。



自動運転車



交差点右折時の試験シーンの例

### 事前テストの実施場面

\*警察庁：自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン（2016/5）

<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/gaideline.pdf>

## プレス向け説明会のスケジュール

1. 日時：2018年1月25日（木） 10時～12時
2. 場所：一般財団法人日本自動車研究所  
(〒305-0822 茨城県つくば市荻間 2530 (つくば研究所))
3. 当日のスケジュール
  - 10:00 ～ 10:10 所長挨拶【講堂】
  - 10:10 ～ 10:40 事前テストサービスに関する内容のご説明、質疑応答【講堂】
  - 10:40 ～ 12:00 事前テストサービスのデモ【Jtown】
4. 当日のデモ内容（詳細は別紙2をご覧ください）
  - ・テスト時のコースレイアウト・路上障害物等の見学
  - ・交差点右折時における車両と歩行者の移動ターゲットを用いたデモ
  - ・雨による信号等の視認性のデモ
5. 参加申し込み
  - ・1月18日(木)までに別紙3またはJARIホームページ上より申し込みをお願いいたします。
  - ・なお、収容人数に限りがあるため、お申し込みをいただいてもご参加頂けない場合もございます。またその場合は、その旨をご通知し、別途、資料をご送付させていただきます。
  - ・スケジュールは悪天候や参加人数によっては、多少変更することもありますので予めご了承ください。

## 事前テストサービスの概要

### 1. 事前テストサービスの目的

- (1) 公道実証実験は、自動走行システム（以下、システム）が対応できない場合や、緊急時には運転者席に乗車する者（以下、テストドライバ）が適切に対応して安全を確保する必要があるため、システムとテストドライバの双方をテストコースで試験できるサービスを用意しました。
- (2) テスト内容は、公道実証実験の先行事例（金沢大学）において公道を走行する前に実施した内容を参考にして基本レベルと応用レベルを用意し、テストシーンごとにシステムとテストドライバがそれぞれどのように対応したかを計測・記録します。さらに、雨天などを模擬した特異環境テストによって、システムの周辺環境を認識する性能が保たれるかを試験することもできます。
- (3) 事前テストを行うことによって、システムとテストドライバの現時点での能力を把握できるため、公道実証実験に向けた課題の確認、システムの改良、テストドライバの訓練などに活用していただけます。

### 2. 事前テストの内容

事前テストは、以下の3種類のテストによって構成されています。

#### (1) 基本レベル

普通自動車第一種運転免許（以下、普通免許）取得のための自動車教習所の場内教習に相当する内容で、システムの基本的な性能を試験します。例えば、直線/カーブを適切な走行軌跡・速度で走行できるか、一時停止線や赤信号などの法規やルールを遵守できるかなどについて試験を行います。

あわせて、システムが対応できない場合には、テストドライバが適切な操作でシステムに介入できるかどうかの試験を行います。例えば、一時停止線でシステムが停止せずに通過しようとした場合に、テストドライバがブレーキ操作で介入して一時停止線の手前で車両を停止できるかなどの試験を行います。

#### (2) 応用レベル

普通免許取得のための自動車教習所の路上教習に相当する内容で、システムの応用的な性能を試験します。例えば、交差点右折時に適切な走行軌跡・速度で走行するだけでなく、他の交通参加者（対向直進車や横断歩行者等）へ適切に対応できるかなどを試験します。

基本レベルと同様に、システムが対応できない場合にテストドライバが適切な操作でシステムに介入できるかの試験を行います。例えば、システムが交差点右折時に対向直進車の進路を妨害するタイミングで右折を開始しようとした場合に、テストドライバがブレーキまたはハンドル操作で介入して妨害しないようにできるかなどについての試験を行います。

#### (3) 特異環境テスト

公道では天候などの変化によって走行条件が厳しくなることがあるため、そのような走行条件でもシステムの周辺環境を認識する性能が保たれるかを確認することができます。例えば、降雨や周辺が暗い条件で白線、標識、信号などを正しく認識できるかなどを確認できます。



Jtownにおける事前テストの施設

## 説明会での事前テストサービスのデモ内容（予定）

Jtown の各エリアで、事前テストの内容をご紹介するデモを実施いたします。

- (1) 基本レベル：テスト時のレイアウトの見学・ルート（一部）をバス車内から見学【多目的市街地】  
－基本レベルのルート（一部）を走行してレイアウトや路上障害物などをご覧いただきます。
- (2) 応用レベル：移動ターゲットを用いた応用レベルのデモ走行を見学【V2X 市街地】  
－交差点右折時の応用レベルの一例として、車両と歩行者の移動ターゲットを用いたデモを実施します。  
(右折時に他の交通参加者がいない場合、対向直進車と横断歩行者がいる場合の2パターン)
- (3) 特異環境テスト：雨による信号等の視認性デモの見学・バスの車内から体験【特異環境試験場】  
－降雨条件でシステムの周辺環境を認識する性能に関するテストのデモを実施します。  
－雨の有無による信号等の見え方の違いを体験していただきます。

以上

### 【お願い】

本件に関する報道は、1月25日（木）の発表までお控えいただければ幸いです。